



## 喜多の埜

### 式年遷宮 遷御の儀

今月二日、三重県伊勢市宇治館に鎮座する皇大神宮(内宮)で、今月五日、三重県伊勢市豊川町に鎮座する豊受大神宮(外宮)で、二十年に一度となる、御神体が旧殿から新殿へとお遷りになられる遷御の儀が執り行なわれ、式年遷宮いよいよ佳境を迎えます。

この奈良時代から続く式年遷宮という制度は、まさにこの遷御の為の制度であり、二十年の歳月で古く傷んだ正殿から、松の香りも芳しい新しい正殿へ御神体がお遷りになられる事で、夕暮れから夜を越えてまた朝日が昇るように、大御神さまのお力も若やくものと信仰されてきました。

そして、この式年遷宮は単なる信仰というだけに留まらず、二十年に一度という節目が、

- ・ 技術の伝承(伝統技術の断絶を防ぐ)
  - ・ 祖形の伝承(弥生時代の建築法をそのまま伝えていく唯一の例)
  - ・ 精神の伝承(日本人らしさとは何かを再認識する機会。感謝の心の育み)
  - ・ 木材の循環(旧殿の木材も全て再利用され、もったいない精神の原点)
  - ・ 森林の保護(二十年ごとに使われるという前提があるので山が守られる)
- という、日本の精神、文化、産業において、非常に重要な役割を担っています。

この秋、新しく輝く外宮内宮の両宮を押し奉り、これから生まれる命と、そして今ある私たちの日々への感謝の心に今一度思いを致し、二十年に一度の節目を迎えましょ。

### ウメチャ祭

今月十二日～十四日までの三日間。「茶屋町の魅力向上」と、「安心してまち歩きが出来る街づくり」を目指して、地域の住民や企業が一緒になって執り行なうイベント「ウメチャ祭」が開かれます。

主要会場はNU茶屋町周辺で、特に初日の十二日にはあちらこちらの会場でパレードやライブなどが行われ、街を盛り上げます。

また毎日放送の企画で、「幸せの黄色い茶屋町スタンブラー」と題して、スマートフォンを利用したスタンブラーも行われます。これは茶屋町の歴史的なポイントなど五ヶ所をまわって頂く形で、当宮御旅社もそのチェックポイントの一つとなっております。

そして昨年と同じく、NU茶屋町から梅田口トまでの道沿いに、ハンドメイドマーケットが開かれ、様々な手作りの品が並び、昨年は早々に売り切れるなど人気だった梅田東地域女性会の皆さんも出店されます。

### 東京五輪と国旗掲揚塔

先月七日、第一二五次IOC総会で、平成三十二年(二〇二〇)の夏期五輪は、東京に決定しました。昭和三十九年の東京五輪から実に五十六年ぶりの事です。

さて、その前回の東京五輪の際は、アジア初の五輪という事もあり、大変な盛り上がりようであったそうで、当時はあちらこちらに記念碑が建てられました。そのうちの一つが当宮御本社に今も残っております。

当時の角田町と高垣町の氏子さんから奉納頂いた国旗掲揚塔で、現在ポール部分は腐食の為なくなりましたが、神牛舎の横に石の基壇だけが今も残っております。当時は国旗掲揚塔に日の丸を掲げ、日本が一つにまとまって大きなチカラを発揮した時代でした。先人の皆さんの戦後復興の努力とその成果に敬意を表し、五輪の成功を祈念するばかりです。

### 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

